



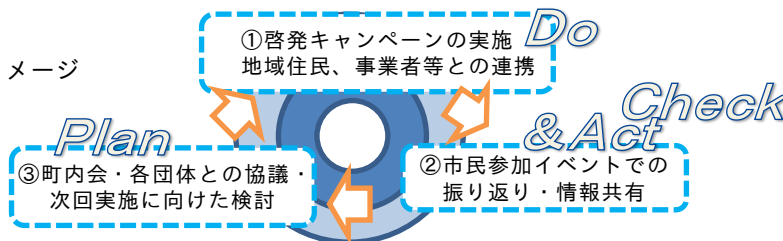
WAKE UP!! (ワケアッ) 仙台 秋の集中キャンペーンについて

「1人1日あたりの家庭ごみ排出量450グラム以下」を目指し、ごみの減量・分別を推進するため、地域住民の皆さまや事業者、大学との協働により10月17日(月)から31日(月)まで、WAKE UP!! (ワケアッ) 仙台「秋の集中キャンペーン」を実施した。

1 ワケアッ!!仙台・ごみ減量キャラバン2016

市民や事業者との協働により、ごみ分別啓発活動を実施。市民とともにごみ分別を考え、企画、実施するPDCAサイクル^{※1}を構築・運用するため、キャラバン終了後は市民参加型のイベントなどにおいて振り返りと評価を行い、次年度以降の取り組みにつなげて行く。

※1 PDCAサイクルのイメージ



(1) ごみ集積所調査啓発キャラバン (10月17日～31日)

毎年秋にクリーン仙台推進員^{※2}が実施する「ごみ集積所排出実態調査」に市職員が同行し、ごみ排出状況の確認を行うとともに、調査実施地域でごみ分別と減量の呼びかけを実施。従事職員は全庁対応とし、市役所全体と地域がごみ分別・減量に取り組む新たな連携のきっかけとして実施した。

※2 地域におけるごみの適正排出やリサイクル推進のリーダー役として活動。町内会長推薦により仙台市が委嘱する。(平成28年9月現在 2,372人)

○実績 (速報値)

ごみ集積所排出実態調査の実施箇所のうち、約500箇所でクリーン仙台推進員と市職員が一緒に調査啓発を実施。同行調査における延べ従事者数は、クリーン仙台推進員が197名、市職員が370人、ほか町内会役員等も参加。

○従事者の主な感想・意見 (※現在集約中)

- (クリーン仙台推進員) ・注意喚起や啓発にあたり市職員の同行はありがたい。
- ・地域のごみの出し方の問題点を共有できて良かった。
- (市職員) ・家庭ごみに雑がみなどリサイクル可能な紙類の混入が多く、サイズの大きい指定袋(大・中)では分別が不十分な傾向にあることが分かった。
- ・こうした調査を地域で行っていること自体を知らなかった。調査していることをもっと周知することで、分別してもらおう働きかけになるのではないかと。



ごみ集積所調査啓発キャラバン実施の様子

(2) コンビニ利用者啓発キャラバン（10月17日～31日）

（一社）日本フランチャイズチェーン協会の協力のもと、若年層や集合住宅居住者の多い地域のコンビニエンスストア49店舗において、大学生、市民団体、町内会等と連携し、店頭で分別グッズ（雑がみ回収袋、プラスチック製容器包装指定袋、ポケットティッシュ、キャンペーンチラシ）を各店舗あたり50セット配布しながら啓発活動を実施。

○啓発参加人数

延べ250人（内訳）職員200人，町内会関係者39人，環境団体・学生等11人



コンビニ利用者啓発キャラバン実施の様子

(3) スポーツイベント来場者啓発キャラバン（10月22日～23日）

在仙プロスポーツチームのホーム試合会場で来場者にごみ分別と減量の啓発を実施。資源物リサイクルに関するクイズに答え、ごみ分別アプリ「さんあ～る（仙台市版）」等をダウンロードいただいた参加者にエコバッグを配布。（配布数 約300枚）

○ベガルタ仙台：10月22日（土）ユアテックスタジアム仙台（対ヴィッセル神戸戦）

○仙台89ERS：10月23日（日）カメイアリーナ仙台（対秋田ノーザンハピネッツ戦）



スポーツイベント来場者啓発キャラバン実施の様子

(4) 市民参加型イベントにおける振り返りと評価

11月6日（日）に開催した「市民まちづくりフォーラム2016」において、これらの取り組みの振り返りや評価を行ったほか、来年2月に予定しているクリーン仙台推進員活動報告会などの市民参加型イベントでも同様の振り返り等を行い、次年度以降の取り組みにつなげていく。

2 WAKE UP!!CAMPUS (ワケアップキャンパス) による大学での資源物回収事業

大学生プロジェクトチーム「ワケアップキャンパス」(以下「WUC」)が所属する6大学において、大学での資源回収とより多くの学生への分別啓発を目的に、WUCがデザインした専用ボックスなどを設置し、資源物を収集する取り組みを開始。

(1) 回収品目 紙類(主に雑誌・雑がみ)、缶(アルミ・スチール)、小型家電

(2) 設置場所および時期 6大学7キャンパス各1カ所に設置。

(3) 専用ボックス等

○紙類用「紙源(しげん)ポスト」

投かんされた紙類がリサイクルされて他の誰かに「届く」こと、また資源循環により未来へ環境を「届ける」意味を込め、郵便ポストを模したデザインとしています。

○缶用「We Can(ウィーカン)」

インパクトのあるデザインで空き缶が資源であることをPRし、缶の回収を促す。

○小型家電用「小型家電回収ボックス」

区役所等に設置している小型家電回収ボックスを設置。(尚絅学院大学・宮城大学を除く)



専用ボックス等の設置の様子

3 実施中の広報・啓発について(10月1日開始)

○保存版「資源とごみの分け方・出し方」(仙台市生活ごみ分別事典)の全戸配布

○ごみ集積所等への新たなポスターの掲示

○資源回収拠点を周知する「せんだいリサイクル拠点ナビ」の区役所等での配布



資源とごみの分け方・出し方



啓発ポスター



せんだいリサイクル拠点ナビ